

地域子どもたちが無料で食事をとれる「こども食堂」。家庭環境に関わらず、誰もが安心して来られる居場所として、全国で取り組みが広がっています。食事を通して、つながりをつくり、地域全体で子どもを見守るこの活動に、いま注目が広がっています。今回、広報広聴調査特別委員会で取材をさせていただきました。

こども食堂さかな

毎月第4 土曜日 朝ごはんの会 8時～10時 各30食
日曜日 昼ごはんの会 12時～14時

Q2.始めようと思ったきっかけは。

コロナ禍がきっかけで、飲食店へ配られた協力金を皆さんの元へと思い始めました。



Q4.心がけていることは。

コミュニケーションをとること。あいさつなどの言葉と一緒に、野菜や魚などを支援してくれるかたのお話もきちんと伝えることです。



Q6.これまでの活動で嬉しかったことは。

赤ちゃんだった子が成長し、道で見かけてあいさつしてくれたり、子どもたちからおじいちゃんの野菜などを支援してくれること。



Q8.最後に、こども食堂を運営する人にメッセージをお願いします。

皆さん、本当にご苦労さまです。これからも子どもたちと一緒に楽しいことや美味しいものを作って笑顔がいっぱいの地域にしましょう。皆んな仲良くです。



Q1.こども食堂さかなについて教えてください。

月1回、朝と昼ごはんの会を開催しています。小学生以下の子どもさんが多く、お弁当を配布して、店内や近くの公園で食べてもらっています。

Q3.苦労していることは。

支援していただける食材をいかにメニューの材料に合わせた他の仕入れの資金が苦労しています。あとは、食堂の通常営業もあるため、土・日の開催が難しくなっています。

Q5.こども食堂への思いをお聞かせください。

私たちが育ったこれまでの淡路島スタイルが今、世界中で見直されているコミュニティや共存して生きていくことで、平和な地域づくりになることを願っています。

Q7.今後の展望は。

あちこちに沢山のこども食堂ができ、曜日変わりで毎日どこかのこども食堂が開いていること。



問合せ先

食堂カフェ バイオリン
代表 大倉 知映氏
☎0799-74-2854

志筑こども食堂

月1回

みんなの朝ごはん

朝7時～8時

1回
25人

Q.利用している子どもたちの年代は。

志筑小学校の全学年の希望者です。申込みが多いので、順番で利用してもらっています。



Q.始めたきっかけは。

出雲容子さんの意志を継ぐかたちで始めました。できれば出雲さんがやっていたように月2回開催したいと思っています。



Q.やりがいや嬉しかったことは。

子どもの笑顔です。最初につくった料理の「唐揚げ」がお店で食べるより美味しいって喜ばれたこともありました。

Q.苦労していることは。

好き嫌いがあるのでメニュー作りに苦労します。つくる量が多いので、たいへんです。

Q.心がけていることは。

食中毒に注意することです。



Q.スタッフを集める方法は。

仲間内でやっています。住職7人とその奥様2人、知人4人の計13人です。

Q.食材や物品の調達方法は。

食材は寄付してくれる方がいる場合もあります。助成金もありますが金額的に不足しています。個人的な寄付で不足分をまかなっています。活動を継続していくために、食材の寄付や資金援助をいただきたいです。

使ったトレイやお皿、はし、コップは自分で洗って片付けします。ごみはキレイに分別します。



Q.今後の展望は。

できれば月2回開催したいです。他の小学校にも展開していければと思っています。

Q.子どもたちの感想は。

●今回で3回目。かぼちゃのスープが一番おいしかった。
●今回は初めて。ゼリーをおかわりした。次はパンを食べたい。
●おかわり自由なのでサラダやミートボールをおかわりした。
●家の朝ごはんもおいしいけど、今日の朝ごはんはとってもおいしかった。
●おなか一杯になった。



取材を終えての感想

スタッフの皆様の子供達に対する想いや情熱、前日からの事前準備などの献身的な姿に心を打たれました。子供達がこども食堂に来ることで人の輪が広がり、大人達の繋がりも広がって行く、そんな素敵な活動を広く市民の皆様を知っていただきたいという思い

でいっぱいです。子供達の笑顔を見守って行くために、人材の確保や、どうやってこの活動を継続させて行くのか、どのように支援の輪をより大きく広げて行くのが今後の課題です。市議会としてもこのような活動に賛同し、支援していくことの必要性を強く感じました。

問合せ先

みんなでワイワイ!おなかいっぱい。
ボランティアみらい主催
代表 八幡寺 野崎 康弘氏
☎080-3791-3871